

開腹胆嚢摘出術を受けられる

説明医師

P1/2

説明看護師(外来)

様へ

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後	術後1日目	術後2～4日目	術後5日目 (退院日)
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる		術後合併症を起こさない		感染がない	
検査	身長、体重測定			採血 レントゲン		
食事	夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用		絶飲食	朝より水分開始 昼より全粥食 夕より常食		退院日は朝食のみ
処置・観察	朝食は自宅で					
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで)	時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物装着物があります ・酸素 → 手術6時間後に取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外します ・背中のチューブ → 術後2～3日で抜去します ・尿道カテーテル → 取り外し、排尿を確認します	創部を観察、処置を行います		退院時にリストバンドを外します
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります					
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 眠前下剤を服用します	手術室で点滴を開始します (手術が午後の場合は病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います ・持続点滴 ・抗菌薬 ・鎮痛剤	鎮痛剤を服用します		
行動・リハビリ	シャワー浴洗髪をします	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し		午前中全身清拭し手術着からパジャマに着替えます	創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週3回、病棟毎で日が異なります)	
制限はありませ	ん	翌朝までベッド上安静です		歩行を開始します 尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます		(退院日) 朝食後退院です
説明	医師・麻酔科医より説明 (外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について (パスシートを使用) ・手術について 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	医師より説明 ・手術結果について 看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について		医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)		

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください 08-K80-2 2023.3.24版 京都第一赤十字病院

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

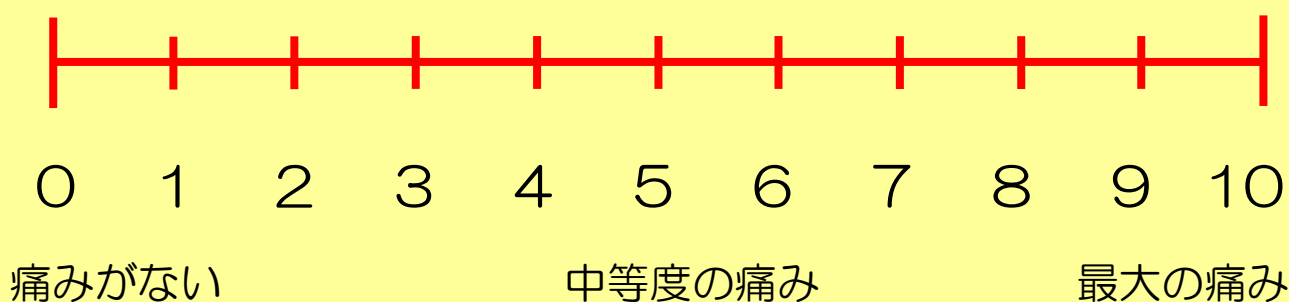
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくをお願いします。

